

# 第58回 定期総会開催

## 新総会長に張慶泰牧師選出



張慶泰 総会長



金明均 副総会長



白承豪 副総会長



朴成均 書記



林明基 副書記



吉井秀夫 会計



2025年10月12日（主）～14日（火）、在日大韓基督教会第58回定期総会が「収穫のために働き手を送ってください」（マタイ9：37～38）という主題をもって福岡教会で開催された。

12日（主）の午後7時から副総会長申大永長老の司会で始まった開会礼拝では、総会長梁榮友牧師が「働き手を送ってください」（マタイ9：37～38）という題で説教した後、副総会長張慶泰牧師の司式のもとで聖餐式が執り行われた。また、未自立教会支援のために献金がさげられ、元総会長である鄭然元牧師により、前会期中の召天者追悼の言葉と祈りがさげられた。

開会礼拝後、ジャネット・マッキントッシュ教授（関西学院大学講師）による「カナダ長老教会（PCC）在日宣教100周年」の記念講演が行われた。

講演後、全総代142名中、出席総代103名を確認して総会の開会が宣言され、2泊3日の定期総会日程に入った。まず、議事運営委員の承認と会順採択がなされ、新総代紹介、前総会長および副総会長の紹介、来賓紹介があった後、前回定期総会会議録が承認された。

一日目に早速役員選挙を行い、総会長に張慶泰牧師（船橋）、牧師副総会長に金明均牧師（名古屋）が選出された。

二日目は、敬虔会（司会：金迅野牧師、説教：超原徹牧師）後、前日の選挙に続き、長老副会長に白承豪長老（神戸）、書記：朴成均牧師（和歌山第一）、副書記：林明基牧師（福岡）、会計：吉井秀夫長老（京都）が選出された。選挙結果を受けて、新旧常任委員交代式が前総会長中江洋一牧師の司式により行われ、議長が新総会長張慶泰牧師に交代して会議が継続され、献議案審議に入った。

なお、役員選挙や会議の間に各種報告、承認と来賓からの挨拶があった。今総会の来賓は以下の通りである。

海外韓人長老会（KPCA）総会長・金環洙牧師、海外韓人長老会（KPCA）事務総長：金光哲牧師、大韓イエス教長老会（KOSHIN）副総会長：金文煥牧師、大韓イエス教長老会（KOSHIN）行政室長：李範熙牧師、大韓イエス教長老会（PCK）

総会長：鄭勲牧師、韓国基督教長老会（PROK）副総会長：文炯律長老、日本基督教団総会議長：雲然俊美牧師、日本キリスト教会大会議長：中家契介牧師、日本キリスト教協議会（NCCJ）議長：吉高叶牧師、アジアキリスト教協議会（CCA）実行委員：鄭詩温牧師

三日目は、敬虔会（司会：金鍾権牧師、説教：金武士牧師）から始まり、各委員会の活動計画報告及び献議案審議等がなされた。

新しく選任された常任委員会及び特別委員会の委員長と監査は次の通りである。

宣教委委員長：李重載牧師（川西）、教育委員長：蔡銀淑牧師（大垣）、社会委員長：申容燮牧師（KCC）、神学考試委員長：朴栄子牧師（豊中第一復興）、信徒委員長：尹鐘憲牧師（明石）、憲法委員長：中江洋一牧師（広島）、救済基金委員長：金勝正長老（豊橋）、財政委員長：吉井秀夫長老（京都）、平和統一会議準備委員長：李明信牧師（大阪）、憲法・規則等改正検討委員長：柳町功長老（横浜）、カナダ長老教会の在日宣教100周年記念事業準備委員長：趙顯奎牧師（別府）、監査：申大永長老（東京希望）

今総会では、以下の献議案が審議され、決議された。

- ・牧師・長老視務延長の件（否決）
- ・兼務牧師に関する件（否決）
- ・憲法規則等改正検討委員会から上程案の件（可決）
- ・総会規則第17条改正の件（可決）
- ・中部地方会の規則の件（可決）
- ・関東地方会の規則改正認の件（可決）
- ・教役者退職後の支援支給金規則改正の件（可決）
- ・在日大韓基督教会「宣教120周年」（2028年）の準備委員会組織の件（可決）
- ・前総会神学校と西新井教会との「共同委員会」設置に関する件（可決）

その他、KCC、RAIK、西南KCCの理事・監査の承認がなされ、最後に予算案審議を終えて閉会礼拝をささげた。

閉会礼拝は、新副総会長金明均牧師の司会でささげられ、新副総会長白承豪長老の祈祷、書記朴成均牧師の聖書朗読、新総会長張慶泰牧師の「伝道者の人生」（使徒20：22～24）という題目での説教と祝祷の後、第58回定期総会の閉会が宣言された。

（編集者）



# 第58回総会期 各委員会活動計画

※委員会組織に関しては不備があり、後日に改めて掲載します。

## ●宣教委員会

### <組織>

・委員長：李重載牧師（川西）

### <活動計画>

- (1) 各地方会の伝道集会支援
- (2) 宣教・伝道セミナー開催
- (3) 在日外国人を対象とした多様な宣教方策研究及び支援
- (4) 宣教協力教団との交流実施



## ●教育委員会

### <組織>

・委員長：蔡銀淑牧師（大垣）

### <活動計画>

- (1) 主日学校の子供たちのための連合キャンペーン実施
- (2) 未自立教会応援プロジェクト：具体的な支援方法を計画して実施
- (3) 牧会者霊性教育プログラム



## ●社会委員会

### <組織>

・委員長：申容燮牧師（KCC）

### <活動計画>

- (1) 継続して人権問題に取り組んでいく
- (2) 防災・災害対策のためのマニュアル作成
- (3) 教会内ハラスメント対策としての人権教育と研修



## ●神学考試委員会

### <組織>

・委員長：朴栄子牧師（豊中第一復興）

### <活動計画>

- (1) 牧師・伝道師・宣教師考試の実施
- (2) 学習洗礼問答集の再発行
- (3) 牧師継続教育の計画とカリキュラム作成



第58回役員一同



第58期常任委員一同

## ●信徒委員会

### <組織>

・委員長：尹鐘憲牧師（明石）

### <活動計画>

- (1) 青年支援：全国青年協議会の再建に向けた取り組みと共に、5 地方会の青年連合会の再建を支援していく。オンライン・対面の青年セミナーの定期的な実施を目指す
- (2) 信徒支援：信徒同士の仲間づくりと活発な交流を促進するための支援をすると共に、地方会レベル・全国レベルの信徒組織化を目指す
- (3) 高齢者支援：高齢信徒のためのプログラムを開発、実施する（「キリスト者の終活」の学びなど）



## ●憲法委員会

### <組織>

・委員長：中江洋一牧師（広島）

### <活動計画>

- (1) 任員会、常任委員会、地方会から委託された案件を処理する
- (2) 「憲法規則等改正検討委員会」の活動に協力する
- (3) 総会ホームページの憲法・規則に関する情報を管理する
- (4) 会議運営規則の制定にむけての素案作り



新旧総会長交代式



日本基督教団  
総会議長雲然俊美牧師



日本キリスト教会  
大会議長中家契助牧師



基長副総会長  
文炯律長老



CCA実行委員  
鄭詩温牧師



高神副総会長  
金文燦牧師



統合総会長  
鄭勲牧師



## ●救済基金委員会

### <組織>

・委員長：金勝正長老（豊橋）

### <活動計画>

- (1) 救済基金の安定した給付・運用を進める
- (2) 信徒支援：信徒同士の仲間づくりと活発な交流を促進する  
救済基金の枯渇に備え、定期的な献金を要請する方案を立てる



## ●財政委員会

### <組織>

・委員長：吉井秀夫長老（京都）

### <活動計画>

- (1) 総会財政の安定化と健全化を目指す
- (2) 過年度未収金への対応(関東・中部・関西)と計画案の作成
- (3) 西新井教会に対する立替金返済の実行
- (4) 特別会計の整理
- (5) 総会負担金算出方法の検証



## ●平和統一会議準備委員会

### <組織>

・委員長：李明信（大阪）

### <活動計画>

- (1) 資料を集め、整理して共有する
- (2) 総会平和統一主日のための「共同祈禱文」を作成し、全教会に配布
- (3) 海外の韓半島の和解と平和に関する機関や団体との連帯



新総会長と新副総会長



女性総代一同



趙原徹牧師による敬虔会の説教



ジャネット・マッキントッシュ教授による特別講演

## ●憲法・規則改正検討委員会

### <組織>

・委員長：柳町功（横浜）

### <活動計画>

- (1) 憲法全体を全面改正する：よりシンプルにし、若者にも分かる表現にする
- (2) 2年後の第59回定期総会に憲法規則改正案を提案できるよう改正案の作成・検討作業を具体的に進める
- (3) 個別目標として、憲法規則の改正に関する意見、提案を委員会での議論に反映させる。そのために、各地方会の実情などを把握できるようにヒアリングを行う



## ●カナダ長老教会の在日宣教100周年記念事業準備委員会

### <組織>

・委員長：趙顯奎（別府）

### <活動計画>

- (1) 在日カナダ宣教師の宣教活動資料などを収集し、記念誌を作成
- (2) カナダ宣教師の資料室をKCCに設ける
- (3) 「在日カナダ宣教師とKCCJ」をテーマとして、カナダで講演会を行う
- (4) 第59回定期総会の際に記念式典を行う



## ●監査

### <組織>

・申大永（長）、李大宗、森克之、李重載、崔日承



会議録書記



## 西新井教会牧師請聘案内

在日大韓基督教会西新井教会で奉仕していただける牧師任を探しております。下記にご連絡いただけましたら幸いです。

- ・資格：韓国語と日本語が堪能の方
- ・書類提出：履歴書一部
- ・締め切り：2025年11月30日
- ・提出先：nishiara1952@gmail.com
- ・問い合わせ：090-2905-9348（李敏禮勸士）

## 韓日対照聖書販売



各ページの左に韓国語(改革改正訳)、右に日本語(新共同訳)が掲載されています。

- A5版変型・1760ページ、革製
- 価格：4,000円(消費税・送料込)

※お求めは总会事務所へ



## 大阪北部教会

## 創立100周年記念礼拝

## 記念式典と併せて開催

2025年9月28日大阪北部教会において、教会創立100周年記念礼拝及び記念式典が開催された。

午前11時からの記念礼拝では、本教会の初代担任牧師である金泰福牧師の次男金基煥牧師（米国居住）より「…宣教2世紀に向けて前進する教会」という題目で説教があった。その中で、初代牧師が帰国後、平壤神学校で教鞭を執ったのち、北朝鮮の当局によって逮捕され、殉教されたというお話があった際には、信徒たちが涙と共に深い感動を受けた。

午後4時からの記念式典において、1部の礼拝では、趙永哲担任牧師の司会の下、同教会の名誉長老金石水長老の祈りと聖歌隊による「主が建てられた教会」の特別賛美があった。その後、韓国シロアム眼科病院の院長である金善泰牧師による「主において、3つの望みがある大阪北部教会」という題目で説教があった。

2部では祝辞の時間として総会代表として総会長梁榮友牧師（武庫川教会）と初代金泰福担任牧師の次男金基煥牧師、日本基督教団聖峰教会の牧師であり、関西学院大学の名誉教授である神田健次名誉教授、阪信会代表として金根培長老がそれぞれ祝



辞を述べ、そして韓国キドゥン教会の担任牧師である高信一監督より映像での祝辞があった。そして、今回大阪北部教会の100周年を記念し、趙永哲牧師が関西地方会の未自立教会のための支援献金を関西地方会会長金鍾権牧師に贈呈した。その後、教会創立100周年を迎え、同教会の永年信仰者16名（50年以上本教会に通った信徒）に対する表彰式を行い、趙永哲牧師より一人ずつ手渡された。

3部では牟大盛長老と金亨坤執事の司会で祝賀食事が持たれた。これまで100年間大阪北部教会を守り、導いて下さった神様に心から感謝し、これからの宣教2世紀においても共にあり、守り導いて下さることを切に祈りつつ、すべての感謝と栄光を神様にささげたい。

（報告：趙永哲牧師）

## 関西地方会

## 「サンクスフェスティバル」開催

## 青年部・女性部・壮年部が共催して

去る10月19日（主）15時から大阪北部教会にて青年部・女性部・壮年部共催により第14回「サンクスフェスティバル」が開催された。今年は「主との出会いとつながり」と言う主題で、12教会から105人が集まり喜びを分かち合った。



第一部礼拝では青年部長の梁陽日長老の司会で大阪教会の李明信牧師により「主の恵に喜ぶサンクス」（使徒言行録2章42節）という題で説教が語られた。

第二部の講演では「青年の声を聞こう！」というテーマで5名によるディスカッションが行われた。女性部長金仁姫勸士の司会のもと京都教会の李成俊牧師、平野教会青年会長のファム・ゴットゥンさん、大阪西成教会青年会長の加瀬太志さん、京都教会青年会の金孝鍵さん、青年OBの浪速教会金善榮執事がそれぞれ今の教会での取り組み、青年が教会に集まるには、などを語った。

第三部の公演では壮年部長の森克之長老の司会にて大阪教会の新井深絵執事のゴスペルコンサートを開催。力強く温かい勇気を頂くすばらしい歌声で6曲を披露し、最後は参加者全員で立ち上がり「Oh! Happy Day」を、アンコールでは「主われを愛す」を讃美した。

第四部は関西女性会会長の柳綾美勸士の司会で交流会を実施。プログラムに記載された番号のテーブルに集まり、自己紹介から今日の感想まで楽しく語り合った。第四部まで多くの方が参加する格別なサンクスフェスティバルとなった。

今後も青年部、女性部、壮年部が協力し合い、青年の集うサンクスフェスティバルを企画していく。（報告：壮年部長 森克之）

## 書籍紹介

『ある在日韓国人クリスチャン家庭の百年  
—大阪・林家の生活史—』

著者：石川 亮 太

本書は、在日韓国人でキリスト教信仰を受け継いできた林（イム）家の百年をたどる、信仰と家族の生活史です。植民地時代から戦後、そして現代までの歩みを、口述記録や資料を通して丁寧に描いています。

物語の中心は、母・李順謙（イ・スングヨム）さん。1909年、朝鮮北部に生まれ、平壤のキリスト教系女学校で学びました。女性教育がまだだった時代、彼女は聖書を通して「神の前に立つ自由」を知り、信仰によって生きる決意をします。日本で信仰を得た林学周（イム・ハクチュ）さんと結婚して大阪へ渡り、貧しさと差別の中でも祈りの生活を続けました。

戦時下の弾圧と空襲の夜、李さんは家族を守りながらも静かに祈り続けました。その祈りは家族に受け継がれ、南方教会（現・大阪北部教会）を拠点に信仰の灯は消えることがありませんでした。

子どもたちは日本社会の中で成長し、「在日」と「クリスチャン」という二つのアイデンティティの間で悩みます。それでも

母は誰をも責めず、「神様はそれぞれの道を導かれる」と祈り続けました。その沈黙の祈りが、百年を超えて家族をつないだ見えない糸となったのです。

著者・石川亮太氏は、家族の証言を通して「記憶」と「記録」の狭間を静かに描き出します。そこには、単なる事実ではなく、祈りと涙と赦しがにじんできます。

『ある在日韓国人クリスチャン家庭の百年』は、民族や国境を越え、「信仰とは何か」「継承とは何か」を問いかける静かな証言の書です。オオサカの片隅で百年を生きた一つの家族の祈りの軌跡が、今を生きる私たちに深い問いを投げかけます。（大阪教会 李明信牧師）



かんよう出版